

## 素材プロセス分野の産学連携による研究開発と人材育成

## 企画にあたって

森 戸 春 彦<sup>1</sup> 竹 田 修<sup>2</sup> 永 井 崇<sup>3</sup> 佐  $\phi$  木秀顕<sup>4</sup> 大 石  $\phi$  郡 藤 敬 高<sup>6</sup>

IT の発展や新興国経済の急成長にともない、企業や研究 機関を取り巻く研究開発競争は日々激しさを増している. ま た, 顧客ニーズが多様化する中で, 高度な新製品が次々と開 発され、より迅速で効率的な研究開発が求められるようにな ってきた. グローバルな研究開発競争が激化する環境下で, 企業の成長戦略の一つとして、社外から知識や技術を集約 し、新しいイノベーションを起こす「オープンイノベーショ ン」を取り入れる企業が増えている. その中でも, 大学と企 業が共同で研究開発を進める「産学連携」において大学の特 長を活かした新しい取り組みが注目を集めている. 従来の産 学連携は、企業と大学内の一研究室が共同で研究を進める形 が一般的であったが、近年では、大学内に企業の寄付講座を 開設し、研究開発だけに留まらず、新たな顧客ニーズの創出 から事業展開まで包括的な製品開発を目指した産学連携が推 進されるようになってきた. とりわけ、教育機関である大学 においては、次世代のイノベーションを牽引する優秀な人材 の育成に大きな期待が寄せられている. 本特集では、金属素 材プロセス分野に注目して、各大学で取り組んでいる最新の 産学連携事情についてご解説いただいた.

東北大学の打越雅仁先生には、多元物質科学研究所と住友 金属鉱山株式会社との共同研究ユニットについてご執筆いた だいた. 解説では、人材育成・非鉄金属製錬業の啓発活動 や、日本の非鉄金属製錬業界全体の利益に資する共同研究に 関してご紹介いただいた。東京大学の**岡部徹先生**には、JX 金属株式会社の寄付により東京大学に設置された非鉄金属資 源循環工学寄付研究部門(通称:JX 金属寄付ユニット)につ いてご執筆いただいた. 本ユニットは, アウトリーチや人材 育成に指向した従来にない寄付ユニットであり、解説では, ユニットが新設された経緯や,一連の活動についてご紹介い ただいた. 京都大学の谷ノ内勇樹先生には, 同大学内に設立 された寄附講座「非鉄製錬学講座」についてご執筆いただい た. 大学の教育リソースを活用して、企業の若手技術者を育 成する取り組みが紹介されている. 大阪大学の杉山昌章先生 には、同大学の産学連携の特徴「Industry on Campus」に ついてご執筆いただいた. そして, 日本製鉄株式会社として

材料基礎協働研究所を通じて得られる価値についてご紹介いただいた. 九州大学の**斉間等先生**には、同大学と JFE スチール株式会社の産学連携研究についてご執筆いただいた. 解説では、鉄鋼業における炭酸ガスの回収・再資源化や、バイオマスの製鉄所利用など、共同研究の成果を詳細にご紹介いただいた.

いずれの記事も、各大学が取り組んでいる産学連携について、最新の情勢をわかりやすく紹介していただいた. 本特集が、企業会員の方も含めた多くの読者の一助となれば幸いです.

最後に、ご多忙中にもかかわらずご執筆をいただいた先生 方に対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます.

## 

2007年 東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了

2007年8月 東北大学多元物質科学研究所助教

2016年6月- 現職

専門分野:材料工学,結晶工学

◎アルカリ金属を用いた新規物質探索と新規結晶育成法の開発に従事.

## \*\*\*\*\*\*\*



森戸春彦



\_\_\_\_\_\_ 竹田 修



永井 崇



佐々木秀顕



大石 郁



齊藤敬高

<sup>1</sup>東北大学金属材料研究所;准教授(〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1)

<sup>2</sup>東北大学大学院工学研究科;准教授(〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-02)

<sup>3</sup>千葉工業大学工学部;准教授(〒275-0016 習志野市津田沼 2-17-1)

<sup>4</sup>愛媛大学大学院理工学研究科;講師(〒790-8577 松山市文京町3番)

<sup>5</sup>広島県立総合技術研究所;主任研究員(〒739-0046 東広島市鏡山3丁目13-26)

<sup>6</sup>九州大学大学院工学研究院材料工学部門;准教授(〒819-0395 福岡市西区元岡744)

Haruhiko Morito<sup>1</sup>, Osamu Takeda<sup>2</sup>, Takashi Nagai<sup>3</sup>, Hideaki Sasaki<sup>4</sup>, Kaoru Ohishi<sup>5</sup>, and Noritaka Saito<sup>6</sup>

Keywords: industry-academia collaboration, open innovation, research development, human resource development 2020年7月15日受理[doi:10.2320/materia.59.465]